

九州・沖縄ブロックの新たな取り組みR 8 目標設定 建設業の更なる『働き方改革』、週休2日等を強力推進

九州・沖縄ブロックの国・県・政令市（九州・沖縄ブロック土木部長等会議）は、建設産業の中長期的な担い手確保・育成に向け、令和8年度の共通の取り組み目標を策定した。地域の安全を守る建設業の魅力を向上させ、働きやすい職場づくりを加速させることを急務とし、令和8年度の主な取り組み目標で、多様な働き方の実現の新規事項として週休2日（月単位・完全週休2日等）の推進に加え、猛暑などの気候を踏まえた働き方の支援や変形労働時間制の適用、ICT・DXを活用した効率化を推進する。

魅力発信と定着支援では、新規に女性や若年技術者の交流環境を整備するほか、SNSや体験イベントを通じた小中高生・保護者向けの広報活動を拡大。継続して、市町村への波及、労働環境の改善をブロック全体で進めるため、国や県から市町村へ事例紹介や助言を行い、連携を強化する。具体的な施策として、現場OFF宣言「土日、現場は休むけん！」を合言葉に、全県一斉の啓発ポスター掲示や週休2日工事の原則導入を進める。また、インフラDXの浸透で遠隔臨場（カメラ等を用いた検査）やICT施工を多くの工事で試行・適用し、移動時間の短縮や現場作業の省力化を実現。官民連携のイベント「土木フェスタ」や「現場見学ツアー」、女性技術者ネットワークの交流会などを各地で開催し、将来の担い手へ建設業の役割を伝える。

これらの取り組みによって、九州・沖縄ブロックが一丸となって建設業界の働き方改革を強力に推進して行くことにしている。

[九州・沖縄ブロック土木部長等会議合意事項](#)